

和光大学地域連携研究センター 主催

地域応援プロジェクト 公開セミナー

今、あらためて問う

「集い遊ぶこと」の意味

第2弾

—五月礼讃：響き合う身体と心—



日時

2024年5月5日(日) 祝

13:00～16:30 (12:30～受付)

場所

和光大学

(小田急線「鶴川」駅より徒歩15分)

体育館(パレストラ)1Fダンス演習室

内容

【第1部】13:00～14:45

●オープニング パフォーマンス

ドラム・パーカッション演奏：向井善哉・中村順一 ダンス：大橋さつき

●討議 響き合う身体と心 ～よしやくんから教わったこと～

向井善彦・容子 大橋さつき 根立博 中村順一 小林芳文

～～～休憩～～～

【第2部】15:15～16:30

●公開プログラム みんなで遊んでつくろう!

クリエイティブムーブメント「心音(こころね)」

プログラムリーダー：恵濃志保

参加費
無料
要予約

予約申込 専用フォームよりお申し込みください。

親子で参加の方



一般参加の方



※お申込み受付は、先着順とし、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

お問い合わせ

✉ asobi@wako.ac.jp (大橋研究室)

☎ 044-988-1433 (地域連携研究センター)

和光大学

本セミナーは、アフターコロナの地域子育て支援のあり方について、共に語り合う場として設定された、和光大学地域応援プロジェクト：今、あらためて問う「集い遊ぶこと」の意味～ムーブメント教育・療法を活かした地域子育て支援の実践から～(2023年11月3日開催)の続編として企画されました。

今回は、「響き合う身体と心」をサブテーマに、クリエイティブな遊びや表現活動に集う人々の間で起こること、共振共鳴する身体・通じ合う心に焦点を当てます。

第1部では、障害のある青年を中心に、彼の育ちにかかわってきた者たちが、運動遊びを原点とした発達支援法である「ムーブメント教育・療法」や音楽演奏活動を通して、コミュニティの中で人々とのつながりを大切に育ってきた姿をふりかえりながら、討議を行います。第2部では、大橋研究室と地域団体の連携によって里山公園で実現したインクルーシブな野外パフォーマンス「心音2023」の実践を踏まえ、それらをもとに、集まった人たちと、音楽やダンスを楽しみながら、楽しい表現の場を共創する集団遊びのプログラムに挑戦します。

みなさま、どうぞご参加ください。



発表者・講師紹介

向井 善哉

1995年生。重度知的障害。幼少期からムーブメント教室に参加。音楽に興味がありリズム感に優れていたため、10歳よりドラムを中村順一氏に師事。横浜国立大学附属特別支援学校音楽同好会ミューズでドラムを担当。

現在は、お弁当づくり等の仕事をしながら、「アンサンブルエクラ」を中心に音楽活動を継続中。

向井善彦(父)・容子(母)

我が子の好きなことに目を向け成長を応援し続けてきた家族の取り組みの記録を発信。

大橋 さつき

和光大学現代人間学部人間科学科教授。博士(学術, お茶の水女子大学)。療育や子育て支援の現場で、ムーブメント教育や身体表現を活かした遊びのプログラムを展開。共生・共創をめざした舞台づくりへの挑戦も継続中。

大修館書店より、『子どものウェルビーイングとムーブメント教育』 近日刊行予定。

小林 芳文

横浜国立大学名誉教授、和光大学名誉教授。教育学博士(東京大学)。日本ムーブメント教育・療法協会会長。著書に、『運動・遊び・学びを育てるムーブメント教育プログラム100』(大修館書店, 2021)、『子どもたちが笑顔で育つムーブメント療育』(クリエイツかもがわ, 2020)、『フロスティッグのムーブメント教育・療法 理論と実際』(訳)(日本文化科学社, 2008)、『ムーブメント教育・療法による発達支援ステップガイド』(日本文化科学社, 2006)、『LD児・ADHD児が蘇る身体運動』(大修館書店, 2001)他。

中村 順一

パーカッション奏者。洗足学園音楽大学打楽器科卒業。打楽器を岡田知之氏(元N響打楽器奏者)に師事。卒業後、米国、ブラジルに渡る。

帰国後、在日ブラジル人ミュージシャン、フランス・シルヴァ氏に師事。1995年、プロ活動を開始。ライブ、レコーディング、スタジオワーク等の演奏活動の傍ら、後進の指導にあたる。

横浜日本屋楽器、パーカッション講師。障がい児者の指導も積極的に行う。

根立 博

元横浜国立大学附属特別支援学校教諭。ムーブメント教育・療法を活かした授業を展開。平成20年度文部科学大臣優秀教員として表彰。

共著:『発達に遅れがある子どものためのムーブメントプログラム177』(学研, 2010)、『発達障がい児の育成・支援とムーブメント教育』(大修館書店, 2014)等。

恵濃 志保

2008年和光大学人間関係学部人間発達学科卒。日本ムーブメント教育・療法協会上級指導員。株式会社CMDゆうゆう代表。

ムーブメント教育・療法の理念をもとに、障がい児者を含む親子遊びや表現活動を通して家族支援、地域支援を展開。横浜市緑区で放課後デイサービスcocoonを運営。保育所・幼稚園、療育機関等でムーブメントプログラムによる実践、研修を担当。和光大学「ばいであ」講師、開放センター主催公開講座講師、人間科学科専門科目の特別講師を担当。